

日付の書き方の話

英語で日付を書くとき、「アメリカ式」と「イギリス式」の書き方があります。「年月日」を書く順序が少し違います。アメリカ式は「月/日/年」、イギリス式は「日/月/年」の順序で書きます。

また、双方それぞれに「カジュアルな書き方」と「フォーマルな書き方」があります。前者は、数字のみで表記しますが、後者は文字も使います。

<2035年9月2日を表記する場合の例>

	カジュアル(親しい間柄で使う)	フォーマル(ビジネスなどで使う)
アメリカ式	9/2/2035 年を略す場合 9/2/35 or 9/2/'35	September 2nd, 2035 (‘th’は省略してもよい、カンマが必要)
イギリス式	2/9/2035 年を略す場合 2/9/35 or 2/9/'35	2nd September 2035 (‘th’は省略してもよい、カンマは不要)

日本人の私たちは、どの書き方で書けばよいかと迷いますが、自分が好きな書き方で正確に書けるようにしておけばよいでしょう。

ただ、数字だけしか使わない「カジュアルな書き方」では、日付によっては、どちらが月でどちらが日にちななのかがわかりにくくなり悩んでしまいます。さらに年を略したらもう何が何だかちんぷんかんぷんです。

わかりやすいのは、イギリス式のフォーマルな書き方です。順序が日本の真逆で、カンマも不要だからです。このブックでは月や曜日のスペリングを練習することもトレーニングの一環なので、練習ページの日付欄に曜日も加えて下記のように記入しましょう。

日にちの表記は、アメリカ式もイギリス式も同様です。「first」「second」「third」と読む部分は、数字の末尾にそれぞれ-st、-nd、-rd をつけます。それ以外は、数字の末尾に-th をつけます。

Sunday, 2nd September 2035



自分の書きたい書き方でも問題ありません。曜日や月には略語が使われることもありますが、スペリングの練習と思って略さずに書きましょう。また、アメリカ式もイギリス式も、曜日は年月日の前に書きます。

それにしても、日付ひとつをとっても日本は「年月日」、イギリスは「日月年」、アメリカは「月日年」と三者三様なのはおもしろいと思いませんか。これからいろいろなことを学ぶ中で特定の国に興味をわいたときは、その国の日付の書き方に注目してみることも一興でしょう。新しい発見があるかもしれません。

